

製品が「どのように壊れるか」を知らずに「壊れない」は実現できない!

# 信頼性試験・加速試験の基礎と 効率的な進め方およびその要点

日時 2024年8月5日(月) 10:00~17:00  
(9:30 受付開始)

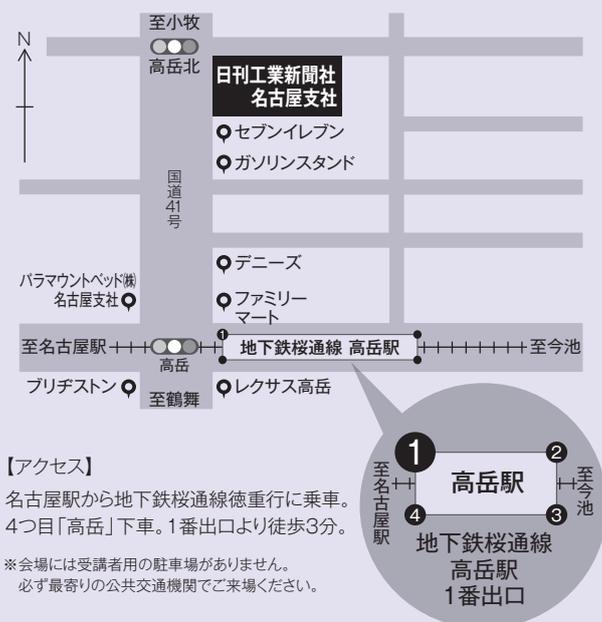
※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 46,200円(資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

## 日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



## 【アクセス】

名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗り、4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関で会場ください。

## 受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。

申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

## お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

## 受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。

振込手数料は貴社でご負担願います。

## キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

## 申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG

TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講  
申込書

## 8/5 信頼性加速試験

お申し込みは <https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

## 個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech

郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.247552

# 開催主旨

「壊れた部品を宇宙まで直しに行けますか？」

ニュースペース系企業で活躍する講師が、「宇宙ビジネスの信頼性技術」を解説する特別セミナー！

「信頼性」とは、簡単に言えば、製品を使用したいときに使用できる性質のことです。

信頼性は、製品にとっては「当たり前品質」の一つですが、すべてのモノには寿命があり、一つの製品を永久に使用し続けることはできません。その寿命を知り、担保するには「どこがどのように壊れるか」を知ることが必要です。その意味で、新製品開発における信頼性試験が重要になります。しかし、信頼性試験には一般に長い時間がかかり、製品開発期間を伸ばす原因になります。

信頼性試験をできるだけ短時間に行うために、加速試験が多く用いられます。加速試験とは、実際の使用状態よりも強い負荷を与えることで、短時間で寿命予測を行う手法です。

ただし、厳しい条件での試験となることで、加速試験のノウハウや要点を理解しないと寿命予測精度が低下するおそれがあります。

本セミナーでは、信頼性の概要説明から始め、信頼性試験、加速試験法を詳しく解説します。また、実際に行われている人工衛星搭載機器の信頼性試験について、分かりやすく解説します。受講にあたり予備知識は必要ありません。多くの方の参加を期待しております。

受講対象者：初心者～中級者向け。信頼性試験を行っている製品設計者、生産技術者、品質管理技術者など。

習得可能知識：・信頼性概論 ・信頼性試験実施方法 ・加速試験の在り方

## 講師

ニュースペース、技術士（航空・宇宙／経営工学／総合技術監理）、上級信頼性技術者

**小川 文輔 氏**

【略歴】1986年3月 北海道大学工学部機械工学科卒業。1986年4月 電気メーカー入社。入社以来、人工衛星搭載用のベアチップ実装、衛星搭載機器、衛星通信系サブシステム、太陽電池パネル/バドル等に関する熱構造設計/生産技術業務に従事。

## プログラム

### I. 信頼性概論

1. 信頼性の定義
2. 信頼性と品質
3. 信頼性工学／信頼性設計
4. まとめ(信頼性の概念)

### II. 信頼性試験

1. 信頼性試験の進め方
2. 信頼性試験の留意点
3. 信頼性試験結果の解析
  - a. 信頼性数値データ解析
  - b. 故障解析(故障モード解析)
  - c. 良品解析(≠ティアダウン)
4. まとめ(信頼性試験)

### III. 加速試験法

1. 加速試験とは
2. 加速試験法の原理

### 3. 加速試験の実際

- a. 熱衝撃試験／振動試験
- b. HALT/HASS/HASA
- c. 腐食試験
4. まとめ(加速試験法)

### IV. 人工衛星搭載機器の信頼性試験

1. 信頼性思想
2. 信頼性試験
3. まとめ  
(15年間故障しないための方策)

注)略語説明

HALT:Highly Accelerated Limit Test

HASS:Highly Accelerated Stress Screening

HASA:Highly Accelerated Stress Audit